

番号	科	名称	天気	晴	23年度観察数													観察月数	観察数合計
					4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
					観察月	観察日	12												
1	カモ	カルガモ															0	0	
2	ハト	キジハト		3													1	3	
3	ウ	カワウ															0	0	
4	サキ	アオサキ															0	0	
5	サキ	ダイサキ															0	0	
6	カッコウ	ツツリ	-														0	0	
7	トビ	トビ	○														0	0	
8	カ	ツミ	VU														0	0	
9	カ	ハイタカ	VU														0	0	
10	カ	オオタカ	VU														0	0	
11	キツツキ	コゲラ															0	0	
12	キツツキ	アカゲラ	○														0	0	
13	キツツキ	アオゲラ	○	1													1	1	
14	ハヤブサ	チョウゲンボウ	VU														0	0	
15	ハヤブサ	ハヤブサ	VU														0	0	
16	モズ	モズ	VU														0	0	
17	カラス	カケス															0	0	
18	カラス	オナガ	NT	2													1	2	
19	カラス	ハシホリガラス		1													1	1	
20	カラス	ハシブトガラス		2													1	2	
21	シジュウカラ	ヤマガラ	○														0	0	
22	シジュウカラ	シジュウカラ		9													1	9	
23	ツバメ	ツバメ															0	0	
24	ツバメ	イワツバメ	NT														0	0	
25	ヒヨドリ	ヒヨドリ		8													1	8	
26	ウグイス	ウグイス	○	6													1	6	
27	エナガ	エナガ	NT	1													1	1	
28	メジロ	メジロ															0	0	
29	ムクドリ	ムクドリ															0	0	
30	ヒタキ	シロハラ															0	0	
31	ヒタキ	ツグミ															0	0	
32	ヒタキ	ルリヒタキ															0	0	
33	ヒタキ	シヨウヒタキ															0	0	
34	ヒタキ	コササビ	VU														0	0	
35	スズメ	スズメ															0	0	
36	セキレイ	キセキレイ															0	0	
37	セキレイ	ハウセキレイ															0	0	
38	アトリ	アトリ															0	0	
39	アトリ	カラワヒワ															0	0	
40	アトリ	シメ															0	0	
41	アトリ	イカル	NT														0	0	
42	ホオジロ	ホオジロ															0	0	
43	ホオジロ	アオジ															0	0	
枚月/年				9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	



月	23年度コメント
4	木々の葉が茂りはじめており、鳥の姿を確認するのが難しい時期になってきた。その上、今日は強風が吹いており、鳥の出は良くなかった。ウグイスの囀りは多く聞こえた。近くで囀っているものの、その姿は見つけられなかった。ガビチョウの声も2か所で聞こえた。アオゲラの声は聞こえたが、姿は確認できなかった。
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
1	
2	
3	

注1: 表の最下段は月ごとの観察種数と年間の観察種数。  
 注2: 名称欄記号は、2020年度東京都レッドデータ、北多摩の категория 表示。

外来種

観察月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
カラハト	32											
ガビチョウ	2											
ソウシヨウ												
ホンセイインコ												

レッドリスト表示について

名称欄に東京都レッドリストの категория 表示を行った。 categoria 表示の条件を以下に示す。

2020年版 東京都レッドリスト

対象地域 北多摩の評価による

category 名称	表示	基本概念
絶滅危惧 I A類	CR	ごく近い将来における野生で絶滅の危険性が極めて高いもの
絶滅危惧 I B類	EN	I A類ほどではないが、ごく近い将来における野生で絶滅の危険性の高いもの
絶滅危惧 II 類	VU	現在の状況をもたらし圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧 I 類」のランクに移行することが確実と考えられるもの
準絶滅危惧	NT	現時点での絶滅危険度は小さいが、生育・生息条件の変化によっては「絶滅危惧」としての上位ランクに移行する要素を有するもの
ランク外	○	前回2010年版に掲載されていて今回の改定によりレッドリストから外れた種
非分布	・	主要な生息地でないという理由から対象外とされた種